

平成 30 年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 事業計画

I 総合調整事業

予算額 1,642 千円

推進本部会議において、世界文化遺産登録に向けた方針や事業執行について協議・決定する。

1 推進本部会議の運営等

推進本部会議の決算及び予算、事業計画、世界文化遺産登録に向けた取り組み方針等を審議・決定するため、推進本部会議を開催する。

II 学術検討・条件整備事業

予算額 43,307 千円

世界文化遺産登録の実現に向け、イコモスによる現地調査をはじめとする審査に、文化庁等関係機関との連携のもと対応していく。

1 イコモスによる審査への対応

(予算額 35,250 千円)

現地調査 (9 月頃)、追加情報要求 (通年)、イコモスパネル (11 月末～12 月初旬) 等の登録に向けた審査に対応していくほか、海外の専門家等を対象とした説明用ガイドブック等を作成する。

2 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推薦書作成検討委員会*の開催

(予算額 954 千円)

イコモスによる現地調査における調査員への説明や、追加情報要求の際に提出する資料の内容等について、学術・専門的な立場から検討を加え、助言をいただくため、世界遺産、都市計画、考古学の専門家からなる委員会を開催する。

*当委員会は、イコモスからの追加情報要求等に対応するための会議として、平成 30 年度も継続して開催

3 文化庁・宮内庁、日本イコモス委員等との協議

(予算額 1,181 千円)

イコモスによる審査等に連携して対応するため、文化庁や宮内庁、その他関係機関との協議を行う。また、世界遺産や考古学の専門家からもアドバイスを受けるため、意見交換を実施する。

4 第 42 回ユネスコ世界遺産委員会への出席

(予算額 3,222 千円)

バーレーンで開催される第 42 回ユネスコ世界遺産委員会に出席し、最新の世界文化遺産登録の状況調査や各国の世界遺産関係者との意見交換を行う。

5 保全状況報告書の作成

(予算額 2,700 千円)

文化庁に提出する「保全状況報告書」の作成のため、資産の保全状況に関するデータを収集する。

Ⅲ 魅力創出・情報発信事業

予算額 13,513 千円

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けたさらなる機運の醸成を図るため、国内外に向けたPR事業を実施するほか、民間企業・府民会議・府内市町村等との連携事業を実施する。

- 1 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進シンポジウムの開催 (予算額 700 千円)
百舌鳥・古市古墳群の価値や世界文化遺産登録の意義等について、多くの方に理解を深めていただき、登録に向けて応援いただけるよう、シンポジウムを開催し、専門家による講演、調査成果の発表、パネルディスカッション等を行う。
- 2 国内外に向けたPR事業の実施 (予算額 4,700 千円)
平成31年の世界文化遺産登録を見据え、百舌鳥・古市古墳群の認知度向上を目的として、国内外に向けたPR事業を実施する。
- 3 民間事業者等との連携による情報発信 (予算額 2,000 千円)
百舌鳥・古市古墳群について効果的に情報発信するため、民間企業や大学、その他団体との連携のもとPR事業を展開する。
- 4 世界遺産学習会等の開催 (予算額 800 千円)
大阪初の世界文化遺産登録の実現に向け、百舌鳥・古市古墳群の価値や世界文化遺産登録の意義等について大阪府民の理解を深めるため、府内市町村等と連携し、世界遺産学習会を開催する。
- 5 その他 (予算額 5,313 千円)
 - ①ホームページの活用
国内外に向け、広く、百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を発信するため、ホームページ（日本語版・英語版）を運営・更新する。
 - ②各種情報発信ツールの作成及び活用
ウォーキング・マップやポスター、リーフレットなどの情報発信ツールを活用し、府民会議加入企業や交通各社等の民間企業の協力を得ながら、様々な場所やイベント等で配布・配架を行う。